

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福井大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	工学部
	担当教職員名・役職	工学部インターンシップ委員会
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	86
	受入企業等数	217
	受入企業等名	http://www.fukui-internship.com/sanka_kigyuu/kako.html ※平成29年度は更新されているため、平成30年度でのリンクになります。
	インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学では、福井県経営者協会が担当・実施している「福井県インターンシップ制度」に参加している。プログラム内容については、大学の教職員からのヒアリングを始め、各企業で行われたプログラム内容を共有する等、経営者協会を中心として、インターンシップのカリキュラムを構築している。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		3年次生を対象に、夏季休暇期間中にて原則1週間(5日、40時間以上)の就業体験を組み合わせた選択科目「インターンシップ」として実施している。本科目では、実社会における技術者の役割や仕事などを理解し、将来、社会人として働く場合の自己意識の確立を促す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	申込にあたり、エントリーシートを書いて提出。実施中は、毎日日誌を書くように指導をしている。その後、研修活動報告書を作成し、提出させることで、インターンシップ前後までにおける成長過程を確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習として、①インターンシップの実施目的、教育的効果を伝えるための「インターンシップ説明会」②社会人としてのマナーを伝えるための「ビジネスマナー講座」③受入企業の前調査・研究として経営者協会主催の「県内インターンシップ受入企業合同ガイダンス」を各1回ずつ実施している。

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験での学び、得られたものについて振り返る目的として、インターンシップ後に①企業担当者を招き、グループワークを通しての「事後研修会」(経営者協会主催)②インターンシップ委員会の担当教員10名及び受講学生の前で一人ずつ成果報告をする「学内事後報告会」を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ参加にあたり、インターンシップでの目標や学びについての質問事項がある経営者協会指定のエントリーシートを作成し、提出。インターンシップ中には、学生自身が日々の成長を確認できるよう、毎日日誌を書くように指導。その後、経営者協会指定の研修活動報告書を作成し、提出。それらの成果物によって、インターンシップにおける成長過程を確認している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	申込みにあたり、経営者協会指定のエントリーシートを書いて提出。インターンシップ後は、経営者協会指定の研修活動報告書を作成し、提出。また、企業担当者を招き、グループワークを通しての「事後研修会」(経営者協会主催)と併せて、委員会委員10名、受講学生の前で一人ずつ成果報告をする「学内事後報告会」を実施している。それらによって、インターンシップでの学生の意識や行動の変容について確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	基本的には5日間の実施期間ではあるが、企業によっては10日間程度の長期の受入れをしている。また、5日間でグループ会社3社を回り、各企業で就業体験を実施している企業もある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	経営者協会主催の事前・事後研修会には、企業担当者が参画し、学生への直接的な指導を協働して行っている。なお、企業側には、インターンシップでの学生の評価について、評価表を記載するよう依頼しており、実施中での学生の学習態度や姿勢を客観的に評価する制度を取り入れている。大学、企業側の評価に基づき、改善策等を検討し、担当者から直接指導することで、企業と協働し、PDCAを実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp/View_Syllabus.php
問い合わせ先	大学等名	福井大学
	担当部署名	学務部キャリア支援室
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0776-27-8715
	メールアドレス	g-syusyoku@ad.u-fukui.ac.jp